

## 対応車種一覧（日産自動車株式会社）

EV用コンバータ（JH-WE2301）と対応する車種の一覧を掲載しています。

- 接続可能車種及び各項目については下記をご確認ください。
- 今後発売される車種については、全てが接続できるわけではありません。対応車種は、今後も順次追加してまいります。
- EVの機能や名称等に関して不明なものがある場合はご使用になる前に、必ずEVの取扱説明書をご確認ください。
- EV接続中はEV側でも各種システム（バッテリー保護機能等）を動作させるために、電力を消費する場合があります。消費を抑えたい場合には、EVと接続解除して、充放電コネクタをEVの給電口から取り外してください。

### ■ 日産自動車株式会社

車名	型式	年式	総電力量 <sup>※2</sup>	充電上限	放電下限 <sup>※5</sup>	停電時起動用ケーブル <sup>※3※6</sup>	自動ロック機能有無 <sup>※4</sup>
リーフ	ZAA-ZE1	2022年式～	40/60/62kWh	約100%	約10%	不要	あり
		2018～2021年式				要	あり
	ZAA-AZE0 <sup>※1※7※8</sup>	2016～2017年式	24/30kWh	約100%	約10%	要	あり
		2013～2015年式	24kWh			要	あり
サクラ	ZAA-B6AW	2022年式～	20kWh	約100%	約10%	不要	あり
クリッパーEV	ZAB-U79V	2023年式～	20kWh	約95%	約20%	要	なし
アリア	ZAA-FE0 ZAA-SNFE0	2022年式～	66/91kWh	約100%	約10%	不要 <sup>※9※10</sup>	あり

- ※1 対応車種の中でも車両側のプログラムを変更する必要がある場合があります。車両のプログラム変更に関しては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ※2 V2Hシステム接続時の実使用可能容量とは異なります。
- ※3 「要」の車種の場合でも、太陽電池モジュールで日中発電がある場合や蓄電池がある場合は「不要」になります。
- ※4 充放電コネクタを接続後、運転開始操作なしでEV接続が可能となる機能になります。太陽電池モジュールで日中発電がなく蓄電池も無い場合、本機能は無効となります。
- ※5 EVの電池保護ならびにV2Hシステムの保全の為、記載の放電下限近くまで到達した時点で放電を停止します。

- ※6 停電時起動のご利用時、使用するEVの12Vバッテリーの電池残量が少ないと、V2Hシステムが起動できません。V2Hシステムが停電時起動できなかった場合には、EVの取扱説明書をご確認のうえ、12Vバッテリーの充電をおこなってください。  
12Vバッテリーの充電方法が不明な場合は、数分程度走行を行ってから、症状が改善しているかご確認ください。
- ※7 日産自動車株式会社の車両とV2Hシステムの充放電コネクタを接続した状態で「車両のタイマー充電/即充電スイッチ/リモート充電/タイマーエアコン/乗る前エアコン」は使用しないでください。車両及び本システムの機能が正常に動作しません。
- ※8 車両の接続解除後すぐに接続操作をした場合、接続に失敗する場合があります。時間を置いてからマルチエネルギーモニタのソーラートップ画面のEV接続ボタンもしくはEV用コンバータ側面のボタンで車両の再接続を行ってください。
- ※9 当該EVで停電時起動用ケーブルを使用せず停電時起動を行う場合は、EVのブレーキペダルを踏みこみながら[パワースイッチ]を押し、メーター内の走行可能表示灯[READY]が点灯した後、ブレーキペダルを再度踏んで[パワースイッチ]を押してEVを停止させ、インストルメントパネル部の充電インジケーターが緑色点滅している状態で、EV用コンバータの充放電コネクタをEVに接続してください。
- ※10 EVの電池残量が満充電状態の時、エラーコードQ-41で停電時起動に失敗する場合があります。走行などにより、電池残量を減らしてから、症状が改善しているかご確認ください。

[自動車に関するお問い合わせ：日産自動車株式会社ホームページ (<https://www.nissan.co.jp/>)]